

米国の将官の歴史（基本は陸軍）

アメリカ陸軍は、基本的には英国の制度を踏襲し、Commander-in-chief(総司令官)の下に、二つ星のMajor General(少将)と一つ星のBrigadier General(准将)と続く3階級のFlag Officer(将官)が存在した。総司令官のワシントンは三ツ星を使った、議会では、ワシントンに陸軍元帥(General of the Armies of the United States)を送ることを決定したが、ワシントンは1799年に、中將のままで死亡した。ワシントンの死後、政府は軍の最高位をMajor General(少将)と定め、米墨戦争で活躍したスコット少将が、1855年に特別立法で中將となりました。1861年にスコット退役後、1864年にグラント少将が中將に昇進した。

1886年7月グラント南北戦争の功績で四ツ星(陸軍大将)に、同じく、南北戦争の英雄シャーマン中將が大將になった

1866年6月法令で、陸軍中將の階級は廃止となり、中將は大將に吸収された。これにより、陸軍総司令官 シェリダン中將は大將となったが、シェリダンの死後、陸軍の最高位は少將となった。その後、陸軍中將は復活し、1895年～1906年の間に7名の陸軍中將が誕生した。

しかし、第1次大戦への参戦では、連合軍の各国には大將級の指揮官がいたため、バランスをとるため、1917年に参謀総長ブリス少將、1918年には派遣軍総司令官パーシング少將が大將となり、1929年以降は陸軍参謀総長は大將職となり、退任すると少將に戻るものが慣例化した。

海軍では、最高位がCaptain(大佐)であったが、1862年にRear Admiral(少將)が定められ9人の少將が誕生した。1864年には、ファラガット中將、1866年にはファラガット大將が誕生した。1870年にはポーター大將、ロウマン中將が誕生し、1899年にデューイ元帥が誕生したのを例外として、1915年まで、海軍の最高位は少將にとどまり、1915年には、大西洋艦隊、太平洋艦隊、アジア方面艦隊の司令官はその地位に在職中は大將又は中將に昇進ことが認可されている(司令官離任後は少將に戻る)

一方海軍では、最高位がCaptain(大佐)であったが、1862年にRear Admiral(少將)が

第2次大戦開始時の海軍では、海軍では上記の4ポストが大將職、であったが、イギリス軍の元帥がアメリカ軍の大將の上級者として位置することから、1944年に大戦終了後6ヶ月有効な時限立法で元帥

陸軍:General of the Army、海軍:Fleet Admiral of the United States Navy が制定された

陸軍元帥: ジョージ・マーシャル
ダグラス・マッカーサー
ドワイト・アイゼンハウアー
ヘンリー・アーノルド
オマール・ブラッドレー

海軍元帥 ウイリアム・リーヒ
アーネスト・キング
チェスター・ニミッツ
ウィリアム・ハルゼー

空軍元帥 ハンリー・アーノルド

米国大統領の任期と軍歴

代	名前	在任期間	所属政党	軍歴	備考
1	ジョージ・ワシントン	1789年4月～1797年3月	無所属	独立戦争の総司令官	2期
2	ジョン・アダムス	1797年3月～1801年3月	連邦党		
3	トマス・ジェファソン	1801年3月～1809年3月	民主共和		2期
4	ジェームズ・マディソン	1809年3月～1817年3月	民主共和		2期
5	ジェームズ・モンロー	1817年3月～1825年3月	民主共和		2期
6	ジョン・クインシー・アダムズ	1825年3月～1829年3月	民主共和		
7	アンドリュー・ジャクソン	1829年3月～1837年3月	民主党	対インディアン戦争の司令官少将・2期	
8	マーティン・ヴァン・ビューレン	1837年3月～1841年3月	民主		
9	ウィリアム・ハリソン	1841年3月～1841年4月	ホイッグ	対インディアン戦争司令官・少将・在任中病死	
10	ジョン・タイラー	1841年4月～1845年3月	ホイッグ無	義勇兵部隊	ホイッグ党を追放される
11	ジェームズ・ポーク	1845年3月～1849年3月	民主		
12	ザカリー・テイラー	1849年3月～1850年7月	ホイッグ	少将	在任中病死
13	ミラード・フィルモア	1850年7月～1853年3月	ホイッグ		
14	フランクリン・ピアース	1853年3月～1857年3月	民主	米墨戦争で司令官	准将
15	ジェームズ・ブキャナン	1857年3月～1861年3月	民主		
16	エイブラハム・リンカーン	1861年3月～1865年3月	共和	南北戦争大統領	2期中に暗殺
17	アンドリュー・ジャクソン	1865年4月～1869年3月	民主	民主党所属で、リンカーン(共和党)の副大統領	
18	ユリシーズ・グラント	1869年3月～1877年3月	共和	南北戦争で有名に、最初の4つ星大将	
19	ラザフォード・ヘイズ	1877年3月～1881年3月	共和	南北戦争で少将	
20	ジェームズ・ガーフィールド	1881年3月～1881年9月	共和	南北戦争で少将	暗殺、2人目
21	チェスター・A・アーサー	1881年9月～1885年3月	共和	南北戦争で少将	
22	グローバー・クリーブランド	1885年3月～1889年3月	民主		1893年に再選される
23	ベンジャミン・ハリソン	1889年3月～1893年3月	共和	南北戦争で准将	
24	グローバー・クリーブランド	1893年3月～1897年3月	民主		
25	ウィリアム・マッキンリー	1897年3月～1901年9月	共和	南北戦争、兵士から名誉少佐	2期中に暗殺
26	セオドア・ルーズベルト	1901年9月～1909年3月	共和	1次大戦で大佐名誉勲章	ノーベル平和賞(注2)
27	ウィリアム・タフト	1909年3月～1913年3月	共和		
28	ウッドロウ・ウィルソン	1913年3月～1921年3月	民主	南北戦争北軍牧師	2期
29	ウォレン・ハーディング	1921年3月～1923年8月	共和		在任中に病死
30	カルビン・クーリッジ	1923年8月～1929年3月	共和		
31	ハーバート・フーヴァー	1929年3月～1933年3月	共和		
32	フランクリン・ルーズヴェルト	1933年3月～1945年4月	民主	第2次世界大戦に参戦	4期目 在任中病死
33	ハリイ・S・トルーマン	1945年4月～1953年1月	民主	第1次大戦、大尉	2期
34	ドワイト・D・アイゼンハワー	1953年1月～1961年1月	共和	2次大戦・欧州総司令官・元帥	
35	ジョン・F・ケネディ	1961年1月～1963年11月	民主	2次大戦、海軍大尉	暗殺される
36	リンドン・B・ジョンソン	1963年11月～1969年1月	民主	2次大戦少佐	2期
37	リチャード・ニクソン	1969年1月～1974年8月	共和		2期目 在任中に辞任
38	ジェラルド・R・フォード	1974年8月～1977年1月	共和	2次大戦パイロット	
39	ジミー・カーター	1977年1月～1981年1月	民主		
40	ロナルド・レーガン	1981年1月～1989年1月	共和		2期
41	ジョージ・H・W・ブッシュ	1989年1月～1993年1月	共和	2次大戦海軍パイロット・中尉	
42	ビル・クリントン	1993年1月～2001年1月	民主		2期
43	ジョージ・W・ブッシュ	2001年1月～2005年1月	共和	ベトナム戦州兵空軍	2期、41代の息子
44	バラク・オバマ	2009年1月～2017年1月	民主		2期
45	ドナルド・トランプ	2017年1月～現職	共和	軍歴・政治歴ない初の大統領	

注1 在任中に暗殺、病死、辞任等の時は残りの任期を副大統領が引き継ぐ

注2

横須賀ベースの街路名

Blue Ridge Dr.23:23A301:	国立公園のブルーリッジ山脈より
Decator AVE.	1820年に代将で死んだStephen Decator Jr
Carney St.	7艦隊司令長官
Faragut Ave.	南北戦争で最初に海軍大将、後副大統領
Forestal St.	米国で最初の国防長官James Forrestral
Halsey Blvd.	William Flederik Halsey 第2次大戦de太平洋艦隊司令長官 元帥
King St.	2次大戦で海軍作戦本部長と海軍長官を兼任元帥となった Ernest Joseph Knng
Knigkaid St.	南西太平洋方面海軍司令官兼第7艦隊司令長官 Thomas Cassin Kinkaid
Mahan St.	第2次大戦前の米国海軍大学校教官後校長で「海上権力史論」 は世界各国で研究された Alfred Thayer Mahan
Nimitz Blvd.	2次大戦では、太平洋艦隊司令長官海軍元帥となり、ミズーリ 艦の降伏調印式 of 海軍代表でサインした、Chester W Nimitz
Perry Ave.	江戸時代に日本開国の道を開いたMatthew Calbraith Perry 代将より
Sampson Ave.	米西戦争のキューバ・サンティアゴ海戦の司令官？
Sasquehanna Dr.	ミシシッピ川の支流、インディアンの種族名、ペリー艦隊の旗艦名 等が挙げられるが、米国では、サスケハナ川の中にある スリーマイル島の名前が原発事故のため有名になった
Sherman Ave	第2次大戦終了の時は海軍少将であったが、1949年には 海軍作戦本部長となったForrest Parcival Sherman
Spruance Drive	Raymond Ames Spruance 第7艦隊司令長官 戦後、在日海軍司令長官
Spruance Drive	第2次大戦の時の第5艦隊司令長官 Raymond Ames Spruance 大将
Turner St.	Richmond Kerry Turner サイパン等で上陸作戦を指揮、海軍大将
Vandegrift Lane	第2次大戦で、ガダルカナル上陸作戦を第1海兵団を指揮後 海兵隊総司令官となったAlexander Archer Vandegrift

以上以外にも、終戦時に該当者が見当たらない人名と思われる名前が散在する

例 Howard Rt. Jonen Ave. Sampson Ave. Stark Drive 等

また、街路名以外でも名前がつかわれている

キニック 高等学校	全米フットボール最優秀選手で、第2次大戦で海軍パイロットとして事故死した
サリヴァン 小学校	3重苦ヘレンケラーの家庭教師
デッカー劇場	基地司令官デッカー少将

尚、佐世保基地にはペリー ハイスクール(高等学校) がある。